

貸借対照表
平成 25年 3月 31日 現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	54,672,468	57,817,880	△ 3,145,412
未収会費	34,000	0	34,000
未収金	5,749,561	0	5,749,561
前払費用	5,708,498	5,781,998	△ 73,500
有価証券	1,250	0	1,250
流動資産合計	66,165,777	63,599,878	2,565,899
2 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	4,690,326,700	4,311,191,400	379,135,300
定期預金	69,493,000	69,493,000	0
普通預金	8,310,000	1,550,000	6,760,000
基本財産合計	4,768,129,700	4,382,234,400	385,895,300
(2) 特定資産			
事務所移転費用積立資産	60,000,000	60,000,000	0
25周年事業積立資産	30,000,000	30,000,000	0
特定資産合計	90,000,000	90,000,000	0
(3) その他固定資産			
建物	12,673,861	13,795,249	△ 1,121,388
什器備品	685,343	1,016,048	△ 330,705
電話加入権	873,600	873,600	0
敷金	50,000,000	50,420,000	△ 420,000
その他固定資産合計	64,232,804	66,104,897	△ 1,872,093
固定資産合計	4,922,362,504	4,538,339,297	384,023,207
資産合計	4,988,528,281	4,601,939,175	386,589,106
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	2,332,000	1,900,000	432,000
未払費用	2,140,659	1,471,936	668,723
預り金	1,055,061	1,038,205	16,856
賞与引当金	2,796,586	3,459,111	△ 662,525
流動負債合計	8,324,306	7,869,252	455,054
2 固定負債			
退職給付引当金	7,158,528	6,686,640	471,888
固定負債合計	7,158,528	6,686,640	471,888
負債合計	15,482,834	14,555,892	926,942
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
受取寄付金	4,768,129,700	4,382,234,400	385,895,300
指定正味財産合計	4,768,129,700	4,382,234,400	385,895,300
(うち基本財産への充当額)	(4,768,129,700)	(4,382,234,400)	(385,895,300)
2 一般正味財産	204,915,747	205,148,883	△ 233,136
(うち特定資産への充当額)	(90,000,000)	(90,000,000)	(0)
正味財産合計	4,973,045,447	4,587,383,283	385,662,164
負債及び正味財産合計	4,988,528,281	4,601,939,175	386,589,106

正味財産増減計算書

平成 24年4月1日から平成 25年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
①基本財産運用益			
基本財産受取利息	81,129,618	75,733,483	5,396,135
②特定資産運用益			
特定資産受取利息	17,964	17,960	4
③受取会費			
法人会員受取会費	93,150,000	95,861,000	△ 2,711,000
法人特別会員受取会費	5,000,000	4,000,000	1,000,000
個人会員受取会費	0	500,000	△ 500,000
④事業収益			
受託事業収益	527,100	0	527,100
⑤受取補助金等			
受取国庫補助金	5,499,561	0	5,499,561
受取民間助成金	11,583,400	9,320,000	2,263,400
⑥雑収益			
受取利息	14,960	17,666	△ 2,706
雑収益	741,276	500,000	241,276
経常収益計	197,663,879	185,950,109	11,713,770
(2) 経常費用			
事業費			
給料手当	50,314,495	54,254,026	△ 3,939,531
賞与引当金繰入額	2,216,407	2,886,209	△ 669,802
福利厚生費	410,000	416,718	△ 6,718
法定福利費	1,901,535	1,850,110	51,425
会議費	8,257,477	8,155,159	102,318
旅費交通費	6,875,396	9,510,856	△ 2,635,460
通信運搬費	2,486,514	2,525,161	△ 38,647
消耗品費	860,815	1,117,321	△ 256,506
印刷製本費	2,743,775	1,401,195	1,342,580
渉外費	48,300	13,571	34,729
光熱水料費	551,531	534,413	17,118
賃借費	41,203,863	42,115,317	△ 911,454
新聞図書費	3,008,247	3,718,777	△ 710,530
諸会費	2,312	1,312	1,000
諸謝金	9,378,824	9,965,976	△ 587,152
租税公課	16,700	0	16,700
支払手数料	218,260	234,720	△ 16,460
減価償却費	7,561	28,861	△ 21,300
雑費	114,484	128,297	△ 13,813
管理費			
役員報酬	13,830,000	14,370,000	△ 540,000
給料手当	17,533,924	17,738,337	△ 204,413
退職給付費用	471,888	453,840	18,048
賞与引当金繰入額	580,179	572,902	7,277
福利厚生費	26,801	14,270	12,531
法定福利費	2,400,330	2,179,844	220,486
会議費	422,264	486,582	△ 64,318
旅費交通費	1,749,760	1,749,280	480
通信運搬費	38,935	38,275	660
消耗品費	57,101	189,941	△ 132,840
修繕費	0	39,900	△ 39,900
光熱水料費	415,763	386,990	28,773
賃借費	28,116,500	28,332,825	△ 216,325
新聞図書費	21,612	0	21,612
諸会費	3,500	3,500	0
租税公課	163,115	183,885	△ 20,770
支払手数料	143,745	141,645	2,100
支払報酬	3,459,170	4,382,805	△ 923,635
減価償却費	1,444,532	1,701,884	△ 257,352
雑費	1,400	1,580	△ 180
経常費用計	201,497,015	211,826,284	△ 10,329,269
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 3,833,136	△ 25,876,175	22,043,039
基本財産評価損益等	3,600,000	18,510,000	△ 14,910,000
評価損益等計	3,600,000	18,510,000	△ 14,910,000
当期経常増減額	△ 233,136	△ 7,366,175	7,133,039
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			

経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 233,136	△ 7,366,175	7,133,039
一般正味財産期首残高	205,148,883	212,515,058	△ 7,366,175
一般正味財産期末残高	204,915,747	205,148,883	△ 233,136
II 指定正味財産増減の部			
①基本財産評価益			
基本財産評価益	385,895,300	33,356,900	352,538,400
当期指定正味財産増減額	385,895,300	33,356,900	352,538,400
指定正味財産期首残高	4,382,234,400	4,348,877,500	33,356,900
指定正味財産期末残高	4,768,129,700	4,382,234,400	385,895,300
III 正味財産期末残高	4,973,045,447	4,587,383,283	385,662,164

正味財産増減計算書内訳表
平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計				合計
	調査研究事業	国際交流事業	中興産業彰事業	共通	
I 一般正味財産増減の部					
1 経常増減の部					
(1) 経常収益					
① 基本財産運用利益				40,556,119	40,556,119
② 基本財産受取利息					
③ 特定資産受取利息				17,964	17,964
④ 受取会費				46,575,000	46,575,000
法人特別会員受取会費					
⑤ 事業収益		527,100		527,100	527,100
受託事業収益					
⑥ 受取補助金等		5,499,561		5,499,561	5,499,561
受取国庫補助金		11,583,400		11,583,400	11,583,400
受取民間助成金					
⑦ 雑収益	5,225	674		5,899	14,960
受取利息	741,276			741,276	741,276
雑収益計	746,501	17,610,735		18,357,236	197,663,879
(2) 経常費用					
事業費			5,000,000	5,000,000	
給料手当	37,328,451	11,203,995		48,532,446	50,314,495
賞与引当金繰入額	1,706,634	421,117		2,127,751	2,216,407
福利厚生費	315,700	77,900		393,600	410,000
法定福利費	1,464,182	361,292		1,825,474	1,901,535
会議費	2,767,242	4,352,560		7,119,802	8,257,477
旅費交通費	3,023,673	3,354,463		6,378,136	6,875,396
通信運搬費	2,200,432	193,662		2,394,094	2,486,514
消耗品費	808,384	4,026		812,410	860,815
印刷製本費	2,113,145	611,310		2,724,455	2,743,775
渉外費	48,300			48,300	48,300
光熱水料費	424,679	104,791		529,470	551,531
賃借費	32,189,905	7,465,959		39,655,864	41,203,863
新聞図書費	2,922,494	85,753		2,998,247	3,008,247
諸会費	2,312			2,312	2,312
諸謝金	3,974,552	3,086,340		7,060,892	9,378,824
租税公課	700	16,000		16,700	16,700
支払手数料	217,735			217,735	218,260
減価償却費	7,561			7,561	7,561
雑費	113,784	700		114,484	114,484
管理費					
役員報酬					13,830,000
給料手当					17,533,924
退職給付費用					471,888
賞与引当金繰入額					580,179
福利厚生費					26,801
法定福利費					2,400,330
会議費					422,264

旅費交通費									1,749,760	1,749,760
通信運搬費									38,935	38,935
消耗品費									57,101	57,101
光熱水料費									415,763	415,763
賃借費									28,116,500	28,116,500
新聞図書費									21,612	21,612
諸名費									3,500	3,500
租税公課									163,115	163,115
支払手数料									143,745	143,745
支払報酬									3,459,170	3,459,170
減価償却費									1,444,532	1,444,532
雑費									1,400	1,400
経費用計	91,629,865	31,339,868	7,646,763	0	130,616,496	70,880,519	201,497,015			
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 90,883,364	△ 13,729,133	△ 2,646,763	87,131,119	△ 20,128,141	16,295,005	△ 3,833,136			
基本財産評価損益等				1,800,000	1,800,000					
評価損益等計	0	0	0	1,800,000	1,800,000					
当期経常増減額	△ 90,883,364	△ 13,729,133	△ 2,646,763	88,931,119	△ 18,328,141	18,095,005	△ 233,136			
2 経常外増減の部										
(1) 経常外収益	0	0	0	0	0	0	0			
(2) 経常外費用	0	0	0	0	0	0	0			
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0			
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0			
当期正味財産増減額	△ 90,883,364	△ 13,729,133	△ 2,646,763	88,931,119	△ 18,328,141	18,095,005	△ 233,136			
一般正味財産期首残高	△ 105,582,376	△ 21,299,228	△ 2,988,366	160,977,647	31,107,677	174,041,206	205,148,883			
一般正味財産期末残高	△ 196,465,740	△ 35,028,361	△ 5,635,129	249,908,766	12,779,536	192,136,211	204,915,747			
II 指定正味財産増減の部										
① 基本財産評価損益										
基本財産評価損益	0	0	0	192,947,650	192,947,650	192,947,650	385,895,300			
当期指定正味財産増減額	0	0	0	192,947,650	192,947,650	192,947,650	385,895,300			
指定正味財産期首残高	0	0	0	2,156,406,700	2,156,406,700	2,225,827,700	4,382,234,400			
指定正味財産期末残高	0	0	0	2,349,354,350	2,349,354,350	2,418,775,350	4,768,129,700			
III 正味財産期末残高	△ 196,465,740	△ 35,028,361	△ 5,635,129	2,599,263,116	2,362,133,886	2,610,911,561	4,973,045,447			

財務諸表に対する注記

「公益法人会計基準」(平成20年4月11日 平成21年10月16日改正 内閣府公益認定等委員会)を採用している。

1. 継続事業の前提に関する注記
継続事業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象または状況は存在していない。

2. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
その他有価証券…期末日の市場価格等に基づく時価法によっている。
- (2) 固定資産の減価償却の方法
定額法によっている。
- (3) 引当金の計上基準
賞与引当金…支給見込額に基づき当期発生額を計上している。
退職給付引当金…期末退職給与の要支給額に相当する金額を計上している。
- (4) リース会計基準適用初年度開始前の所有権移転外ファイナンス・リース取引
引き続き通常の賃貸借処理に係る方法に準じた会計処理を適用している。
- (5) 消費税等の会計処理
税込方式によっている。

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高
基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	4,311,191,400	680,681,300	301,546,000	4,690,326,700
定期預金	69,493,000	0	0	69,493,000
普通預金	1,550,000	6,760,000	0	8,310,000
小 計	4,382,234,400	687,441,300	301,546,000	4,768,129,700
特定資産				
事務所移転費用積立資産	60,000,000	0	0	60,000,000
25周年事業積立資産	30,000,000	0	0	30,000,000
小 計	90,000,000	0	0	90,000,000
合 計	4,472,234,400	687,441,300	301,546,000	4,858,129,700

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳
基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定 正味財産から の充当額)	(うち一般 正味財産から の充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
投資有価証券	4,690,326,700	(4,690,326,700)	-	-
定期預金	69,493,000	(69,493,000)	-	-
普通預金	8,310,000	(8,310,000)	-	-
小 計	4,768,129,700	(4,768,129,700)	-	-
特定資産				
事務所移転費用積立資産	60,000,000	-	(60,000,000)	-
25周年事業積立資産	30,000,000	-	(30,000,000)	-
小 計	90,000,000	-	(90,000,000)	-
合 計	4,858,129,700	(4,768,129,700)	(90,000,000)	-

5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高
固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	20,910,594	8,236,733	12,673,861
什器備品	14,920,926	14,235,583	685,343
合 計	35,831,520	22,472,316	13,359,204

6. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高
補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の 記載区分
補助金						
受取国庫補助金	外務省	0	5,499,561	5,499,561	0	-
助成金						
受取民間助成金	公益財団法人 日本財団	0	6,408,000	6,408,000	0	-
	米日財団	0	5,175,400	5,175,400	0	-
合 計		0	17,082,961	17,082,961	0	

7. リース会計基準適用初年度開始前のファイナンス・リース取引関係

(1) リース物件の取得価額相当額、減価償却累計額相当額及び期末残高相当額
(単位:円)

	什器備品
取得価額相当額	1,817,000
減価償却累計額相当額	938,773
期末残高相当額	878,227

(2) 未経過リース料期末残高相当額

(単位:円)

	1年以内	1年超	合計
未経過リース料			
期末残高相当額	385,920	546,720	932,640

(3) 当期の支払リース料、減価償却費相当額及び支払利息相当額

(単位:円)

支払リース料	385,920
減価償却費相当額	359,603
支払利息相当額	26,317

(4) 減価償却費相当額の算定方法は、定額法によっている。

(5) 利息相当額の算定方法は、リース料総額とリース資産計上価額との差額を利息相当額とし、各期への配分方法については、利息法によっている。

8. その他

指定正味財産から充当された基本財産の運用益は、指定正味財産から一般正味財産への振替を行わず、一般正味財産へ直接計上している。

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記の「3.基本財産及び特定資産の増減額及びその残高」に記載しております。

2. 引当金の明細

(単位:円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	3,459,111	2,796,586	3,459,111	0	2,796,586
退職給付引当金	6,686,640	471,888	0	0	7,158,528

財産目録
平成25年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)			
現金預金	小口現金 手元有高 普通預金	運転資金として	806,904
	三菱東京UFJ銀行麹町中央支店	運転資金として	5,231,327
	みずほ銀行麹町支店	運転資金として	2,185,008
	三井住友銀行麹町支店	運転資金として	46,219,229
	定期預金		
	三井住友銀行麹町支店	運転資金として	230,000
未収会費	三井物産㈱他	平成24年度会費	34,000
未収金	外務省他	平成24年度補助金他	5,749,561
前払費用	森ビル㈱	家賃他	5,708,498
有価証券	MRF 三菱UFJリテールPB証券㈱	運転資金として	1,250
流動資産合計			66,165,777
(固定資産)			
基本財産	投資有価証券	公社債他 第11回利付国債他	4,690,326,700
		50%が公益目的保有財産であり、運用益の50%を公益目的事業の財源として使用している。	
	定期預金	三井住友銀行麹町支店	69,493,000
		運用益を法人会計の財源として使用している。	
特定資産	普通預金	三井住友銀行麹町支店	8,310,000
	事務所移転費用積立資産	普通預金	8,310,000
		4,191,000円が公益目的保有財産である。将来の事務所移転に係る費用支出に備えたもの	
	25周年事業積立資産	普通預金	60,000,000
		三井住友銀行麹町支店	
		研究所設立25周年での記念事業等に係る費用支出に備えたもの	
その他固定資産	建物	事務所内装設備等	30,000,000
	什器備品	書棚他	12,673,861
		24,871円を公益目的事業に使用し、残りを法人会計で使用	685,343
	電話加入権	電話19本	873,600
	敷金	森ビル	50,000,000
		法人会計で使用	
固定資産合計			4,922,362,504
資産合計			4,988,528,281
(流動負債)			
	未払金	公益財団法人日本財団	返還助成金
	未払費用	富士ゼロックス㈱他	賃借費他
	預り金	役員他	源泉所得税
		役員他	住民税
		役員他	社会保険
	賞与引当金	職員	職員に対する賞与支給見込みのうち当期に帰属する金額
流動負債合計			2,332,000
			2,140,659
			661,053
			119,600
			274,408
			2,796,586
流動負債合計			8,324,306
(固定負債)			
	退職給付引当金	職員	当期末日時点の退職金の引当である。
固定負債合計			7,158,528
負債合計			7,158,528
正味財産			15,482,834
			4,973,045,447

監査報告書

公益財団法人 世界平和研究所
会長 中曾根 康弘 殿

平成 25 年 6 月 3 日

公益財団法人 世界平和研究所

監 事 長谷川 和年 印

監 事 俣木 盾夫 印

私たち監事は、平成 24 年 4 月 1 日から平成 25 年 3 月 31 日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告します。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁資料等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

- 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

独立監査人の監査報告書

平成 25 年 5 月 23 日

公益財団法人 世界平和研究所

会長 中曽根 康弘 殿

東 陽 監 査 法 人

指 定 社 員 公 認 会 計 士 太 田 元 彦 印
業 務 執 行 社 員

指 定 社 員 公 認 会 計 士 木 村 健 印
業 務 執 行 社 員

<財務諸表監査>

当監査法人は、公益財団法人世界平和研究所の平成 24 年 4 月 1 日から平成 25 年 3 月 31 日までの平成 24 年度の貸借対照表及び正味財産増減計算書並びにその附属明細書並びに財務諸表に対する注記について監査し、併せて、正味財産増減計算書内訳表(以下、これらの監査の対象書類を「財務諸表等」という。)について監査を行った。

財務諸表等に対する理事者の責任

理事者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して財務諸表等を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表等を作成し適正に表示するために理事者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表等に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表等に重要な虚偽の表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表等の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による財務諸表等の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表等の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、理事者が採用した会計方針及びその適用方法並びに理事者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表等の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査意見

当監査法人は、上記の財務諸表等が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して、当該財務諸表等に係る期間の財産及び正味財産増減の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

<財産目録に対する監査>

当監査法人は、公益財団法人世界平和研究所の平成25年3月31日現在の平成24年度の財産目録（「貸借対照表科目」、「金額」及び「使用目的等」の欄に限る。以下同じ。）について監査を行った。

財産目録に対する理事者の責任

理事者の責任は、財産目録を、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠するとともに、公益認定関係書類と整合して作成することにある。

監査人の責任

当監査法人の責任は、財産目録が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しており、公益認定関係書類と整合して作成されているかについて意見を表明することにある。

財産目録に対する監査意見

当監査法人は、上記の財産目録が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しており、公益認定関係書類と整合して作成されているものと認める。

利害関係

公益財団法人世界平和研究所と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上